

自治講習所整理日誌——昭和五（一九三〇）年度

〔表紙〕昭和五年度 第十五期 整理日誌 山形県自治講習所農場当番

〔便箋4枚に記入した備品表が貼り付けてある、算用数字が「月」日調の数字か？

農具調

七月一日調

一、農具舎ノ部

- 一、開墾鋤 十四（新調二十本） 19（大）
- 一、中耕鋤 十七（普通中耕鋤一不足） 18
- 一、平鋤 九（村山鋤八、庄内鋤二）昨年ヨリ一不足 10
- 一、四本鋤 七
- 一、備中（三本鋤）主七（昨年ヨリ七四不足）（新調四十本） 37 31
- 一、ホー八（内一ツ炊事用）三不足 5
- 一、鶴嘴 二 1
- 一、堆肥切鋤 一 3
- 一、砂利集 二 2
- 一、唐鋤 四五 26

二、畜舎ノ部

- 一、ホーク 六 7
- 一、シヨベル 八 6
- 一、レーキ 一

三、鎌ノ部

- 一、大鋤（下刈用） 19
- 一、小鋤（草刈用） 35
- 一、両刃厚鋤
- 一、外雑鎌 20

四、鉋ノ部

- 一、鉋 二十二丁
- 一、鋸 十七丁 〔二行の中間に〕五月二十七日現在

整理当番の任務（一名三日交代）

朝夕農具の出入点検、農具の修繕

井戸端の清浄、宿舍内の掃除整頓

便所掃除、蚤、蠅の予防駆除、排水溝の浚渫

外庭の（宿舍附近）整頓

公私物の点検、蚊帳、毛布、薄縁、下駄、ゴム足袋、蓑、荷縄、鉈、鎌等

農具原簿との照合（引継の際正確にすべし）

記入事項

一、月日 天候 当番者氏名

一、当日の行ひし整理の重なる事項

一、整理当番としての感想（整頓上改善すべき事項、整理上の注意）

一、其他後日の備考となるべき事項

五月八日 木曜日 晴 当番 斉藤博芳

朝起床後直に第一第二寄宿舍室内土間並に舍外を整理し、後排水溝の浚渫をなし、戸端の清浄等をし、農具を点検し、釘を打ち蓑掛を作ったり。夕はやはり出入農具を検し、乾草下ろした後を道場第一寄宿舍の土間に渡り掃除したり。打起しに用ひたる備中二丁柄取れたり。

五月九日 金曜日 晴 当番 斉藤博芳

前日の如く各寄宿舍の内外を掃除し、尚襖場道場を整理し蓑荷縄掛の釘を打ち、各釘にペーパーを貼り農具の取調べを行ひたり。尚土足用便所を一個所穀物倉庫の裏に定めたり。

五月十日 曇 土曜日 当番 斉藤博芳

朝例日の如く各寄宿舍の室内土間並に外庭襖場排水溝の整理をなし、昨朝作りし蓑荷縄掛場のペーパーに番号を付し各自その番号を定め混雑せず掛くる様したり。

後農具を調査し数へ、昨年農具原簿と照り合せたり。而して今年度の農具原簿を作りました。

屋外小便所は時間無き故作らざりしも第二寄宿舍の脇、角力場の所に休時間を利用して作る事に定めたり。

所感、各当番が朝の点呼皇国運動に出る事は宜しいと思ふ。各自の衣類貴重品は整理当番

整理上、誰のか解らず苦心する故、注意を用〔要〕すと思ふ。又手拭の襖の俣下げて畳に水の垂れる等、或は窓より物を放らない事等は尚一層各自の注意を願ひたい。次に畜舎の外等は畜舎当番が整理当番より余裕があるから畜舎当番が整理したらどうかと思ふ。それから農具の掛場が余り密接して奥の方の農具を取るのに困難だ。此れも何とか考慮をうすと思ふ。農具点検に便宜の様に、農具に一、二の焼印を付し、尚掛場所にも一、二の番号を付し、一の所に一の農具を掛ける様にしたら好都合と思ふ。下駄の緒たて或は農具の修繕には逆も整理当番は朝から余暇のなき故、更に一名なり二名なり出して其れに当たらしめなければならぬと思ふ。以上

五月十一日 午前曇 午后晴 日曜日 当番 東海林弘

朝皇国運動後第一第二寄宿舍内掃除後農具ノ点検ヲセリ。後井戸場及ビ便所ヲ掃除セリ。夕方ニ亦農具ノ点検ヲヤリマシタ。

五月十二日 晴 月曜日 当番 東海林弘

朝第一第二寄宿舍内ヲ掃除、舎外ヲ整理シ備中ヲ一本修繕到〔致〕シ後井戸場ヲ掃除シマシタ。午後ヨリ備中一本ヲ修繕致シマシタ。夕方農具ノ点検ヲヤリマシタ。異常無シ。

五月十三日 晴 火曜日 当番 東海林弘

朝第一、第二寄宿舍内ヲ掃除致シ、又舎外ヲ掃除シマシタ。後唐鋤七本ヲ修繕致シマシタ。朝飯後農具ノ点検ヲ致シマシタ。夕方亦農具ノ点検ヲヤリマシタ。異常無シ。整理当番ハ朝一人ニテハ少々無理ダト思マス。以上。

五月十四日 晴 水曜日 当番 佐藤三郎

朝起後直に第一、二の寄宿舍内便所掃除致し、舎外整理し後排水溝の浚渫なし、井戸端の□□等をなし農具を点検致しました。夕はやはり出入農具を第一寄宿舍の土間を掃除しました。小便ひやく〔ひしゃく?〕の柄を〔折〕れました。

五月十五日 晴 木曜日 当番 佐藤三郎

第一第二寄宿舍両便所は御相互に注意して清潔を重じるために便所も実に奇麗たり。其の後整頓風呂の下水、午前十時富並小学校の競技会に招待され出発致しました。自治寮の有

志一〇〇米四〇〇米に目覚しい奮闘致しました。一班二、三のリレーは凄しい接戦で弥栄の勝利です。二着高天原、最後に自治生徒一同皇国運動やり、小学校に厚い待遇に感謝致して四時半帰りました。文部省教育官金井浩外二名登場ス。夜盛大なる茶話会□く。

五月十六日 金曜日 当番 佐藤三郎

皇国運動後農具舎点検、農具の整頓致し後、第一、二寄宿舍掃除、前庭及び入口掃除、夕方農具点検、昨年度の農具鉋と鋸、山刀二二、今年十七、不足五、鋸一五、現在一五、サツク一〇不足。

五月十七日 曇 土曜日 当番 石山長衛

朝起床後、皇運後直第一第二寄宿舍掃除、及び便所を掃除致し、舎外整理農具点検致しました。農具舎内を掃除し、排水溝「溝」どぶ漑なし、夕方農具点検をしました。備中一本折れたのが有りました故、其の折れたる柄を抜きて直に柄の付けらるゝ様にしました。所感、各自の持物はきちんと整理して下さい。自分のはき下駄の緒切れたる時は直に緒をたてゝ下さい。された下駄が多くさん「たくさん」有ります。

五月十八日 晴 日曜日 当番 石山長衛

朝起床、皇運後直に第一第二寄宿舍掃除便所を掃除した、農具点検排水溝とぶ「どぶ」さらいしました。夕方農具の点検をしました。

五月十九日 曇 月曜日 当番 石山長衛

朝起床皇運後自分は山内迄肥料運搬に行く。羽角君自分の代りやる。夕方農具の点検をなす。今日は松田君の送別ならびに牛の子生れし故、御被の餅を搗く。非常においしかった。以上。

五月二十日 火曜日 当番 小松喜平

起床後第一第二寄宿舍両便所掃除して農具点検し、外が風が強く掃除する事が出来なかつたので。下駄のをが切て居たので「ヲ」をたてる。畜舎がつ□けて居たので畜舎を掃除す。夕方仕事都合上遅れたので農具点検が出来なかつた。

五月二十一日 水曜日 当番 小松喜平

起床後農具点検第一二寄宿舍両便所掃除、作〔昨〕日の風に庭がつ〇けて居るので庭掃除をす。襖場掃除じす。高橋先生が古下駄を出して来て〇いたので其れを洗ふ。夕方農具整理す。

五月二十二日 木曜日 当番 小松喜平

起床後皇国運動して第一二舎両便所掃除、襖場掃除、排水溝〔溝〕の中を掃除す。農具点検す。農具に土がついて居るのであるから、きれいに洗って戴きたい。

五月二十三日 午前八時―九時半頃迄風雨強し〓晴れたり雲りたり 金曜日 当番 茂木俊二

午前六時半起床後皇国運動後、農具舎及び第一二寄宿舍掃除後便所掃除及農具整理、屋外便所掃除。使用した農具は丁寧に洗ひ、使用した場所及び農具舎の他には乱りに放置しない様御願ひします。農具は農民の武器と自覚して貰ひたい。夕上りに農具点検す。

五月二十四日（土曜日）少し雲あり 晴 当番 茂木俊二

午前五時起床後皇国運動後整理当番を休み、石井君と兩名で山ノ内に飯米運搬に向ふ。後農具の点検を行ふ。夕再び点検す、異状なし。

五月二十五日 日曜日（午前中雨後晴）当番 茂木俊二

午前五時起床後皇国運動後整理当番にて第一二寄宿舍の掃除及下水溝掃除を行ふ。作業用農具の点検を行ふ。午後夕上に再び農具点検す。異状なし。午後五時頃所長先生及び佐藤（健）君新入生の和田君も登場したり我等同志は実になつかしく〇氣に満満てお迎へした次第なり。以上

五月二十六日 月曜日 晴天 当番 相田助左エ門

午前五時起床後皇国運動後、第一二寄宿舍の掃除整理排水溝襖場等を掃除す。農具の点検をやる。夕方は馬鈴薯播種を八時までやりました。

五月二十七日 火曜日 晴天 当番 相田助左エ門

午前五時起床襖皇国運動、第一第〔二〕宿舍の掃除、農具舎便所排水溝等の掃除を行ひたり。それより鋸と鉋との整理を行ひたり。

鉋二十二丁（内番号無キモノ式丁）、鋸十七丁（番号無キモノ八丁）袋十 五月二十七日現在

五月二十八日 水曜日（午前中曇午後雨降り）当番 相田助左エ門

午前五時起床襖皇国運動、直チニ第一、第二宿舍ノ内外ヲ掃除ヲ済シ、ソレヨリ便所排水溝等ヲ掃除セリ。農具ノ整理点検ヲセリ。午後八午前中使用セル備中、ホーク、肥桶等ヲ洗ヒ農具舎ニ整ヒタリ。鋤ヤ唐鋤等全ベテ農具ノ洗ヒ方ヲ丁寧ニスル様御願ヒ致シマス。

五月二十九日 水曜日（晴）当番 小林洗

午前五時起床襖皇国運動、高橋先生下山し、第二寄舎ノ入口を掃除す。道場を掃除後農舎の道具整理し、それから畜舎を掃除し後に便所を掃舎し。大鋤一丁こはれました。終

五月卅日 金曜日 雨一寸と曇 当番 小林洗

午前五時起床し襖し皇国運動、二名下山す。直ニ農具を整理し後道場と第一寄舎を掃除しそれから庭をはき、大鋤一丁こしらへ、それから第二寄舎と便所と畜舎を掃除し、礼拝し、終

五月卅一日 土曜日 朝霞 小林洗

午前五時起床し襖し皇国運動し三名下山し。直に農具舎の道具を整理し後第一二の寄舎掃除し、それから襖場便所を掃除し後庭をはき農具を点検し礼〔札〕をはりました。休み、終

感想、農具を整理して置くこと、便所を清潔して置きませう。終

六月一日 日曜日 晴天 当番 伊藤正憲

午前五時起床襖皇国運動、直チニ第一第二寄舎ノ内外ヲ掃除済シ、ソレヨリ便所排水溝等ヲ掃除セリ。庭モハク。農具ノ整理点検シ后農具室ヲ掃除スル。以上〔異状〕ナシ。

午後ヨリ使用セズ。農具舎ヲ整理ヲスル。終リ

六月二日 月曜日 当番 伊藤正憲

午前五時起床禊、皇国運動スル直チニ第一第二両寄宿舍ノ内外ヲ掃除スル、済シ、ソレヨリ便所排水溝等ヲ掃除スル。庭畜舎附近モ整理スル農具整理シタ。今日雨ガフツタ為鍬洗ヒガ困難デアツタ。夕方農具点検ヲシ異状ナカツタ。

六月三日 火曜日 当番 伊藤正憲

午前五時起床禊後皇国運動スル直チニ第一第二両寄宿舍ノ内外ヲ掃除スル后便所禊場畜舎ヲ掃除スル。又庭ヲ掃除スル。農具舎整理シテ点検ヲ致シマシタ。以上、終り。

六月四日 水曜日 晴天 当番 佐藤健二

五時起床禊皇国運動後第一二寄宿舍前を掃除、便所第二の土間、第一の舎内掃除致し、農具舎の中の点検及掃除致したり。午後農具舎の整理及点検致した所、三本鍬一丁こわれて居りたり。外以上〔異状〕無し。

六月五日 木曜日 雨 当番 佐藤健二

五時起床禊後農具舎内外の掃除致し、農具ノ点検致したり。以上〔異状〕無し。午後雨降の為家内作業致したり。農具の以上〔異状〕無し。

六月六日 金曜日 晴天 当番 佐藤健二

朝五時起床、六時より本日は大石田に行き小林君に一任せり。私等は午後十一時帰登せり。

六月七日 土曜日 晴天 本間直二郎

午前五時起床皇国運動后直ちに作業に取掛る。農具の整頓点検。第一寄宿舍前後の清潔掃除、井戸端の清浄、排水溝の掃除、農具の出入を点検せり。

六月八日 日曜日 晴天 本間直二郎

同五時起床、禊皇国運動后作業に取掛り、まず農具を整理し出入を検し種々の農備品を方づけ、第一第二寄宿舍内外の掃除、其の後農具舎前の除草し野外堆肥の周囲の掃除す。

六月九日 月曜日 曇后雷雨 本間直二郎

同五時起床、本日は田植等多忙なる為皇国運動をはぶき、すぐ作業に取掛る。農具舎内の整頓掃除、寄宿舎前後の掃除、今日は例日より少し早めに朝食に付く。

感想、畜舎当番の人は道場より乾草を運ぶ際に余り乱雑ならざる様、又庭に散らさぬ様御申し上げます。尚炊事当番なる者は薪置場を乱さぬ様御願申す。以上

六月拾日 火曜日 晴 当番 羽角順太郎

午前五時起床、禊後五時半人員点呼、皇国運動、農具舎点検並整理第一第二寄宿掃除両便所掃除、第一の便所吸〔汲〕む。午後農具点検以上〔異状〕無し。

六月拾一日 水曜日 晴 当番 羽角順太郎

同五時起床、皇国運動後農具舎の整理、第二第二寄宿両便所掃除、排水溝の掃除、井戸端の清浄をなす。農具舎を出来るだけ整理せしが、鎌の掛場所が無いため一一点検せしが、思ふ様に整理出来ない。一日も早く鎌の掛場所を造つてほしい。それから第二寄宿の下駄が乱雑ではなはだみにくいから、もつと各自が整頓してほしい。高丈も同様。紙屑も時々ちらばつて居るから紙くずは一定の場所もしくは炊事の（たきずげにしたら）如何。一日一日暑さも増すし、従がつて便所のうじも発生するから、近日中にうし〔うじ〕のぐぢよ〔駆除〕を行ないたいと思ふ。夕方農具点検せしむ。以上〔異状〕無し。所長先生下山、午後より須藤助手下山。

六月拾貳日 木曜日 曇 当番 羽角順太郎

同午前五時起床、朝禊皇国運動後作業開始。前日同様両寄宿舎両便所掃除、舎前の庭〔庭〕掃除をやる。紙屑が散らばつておるから諸君が得た注意をして願ふ。僕は礼拝ノ場所はきれいな、しかも悪げがれの無き所で毎日の礼拝ヲやりたいと思ふ。直ほ先日の整理当番も畜舎当番ノ方に注意ヲ促した様ニ畜舎係人は最と「もつと」考慮してもらいたい。

六月拾參日 金曜日 曇時々雨 当番 伊藤儀一

午前五時各自床を離れて禊して六時にて点呼後皇国運動、其の後第一寄宿舎農具舎整頓、第二寄宿舎等整理して、其の後禊場掃除して、第二寄宿舎前庭掃除して、第一本作り、一寸畜舎掃除して、第一寄宿舎第二寄宿舎の両便所掃除して、朝礼拝に出てたり。

六月拾四日 土曜日 一時晴後曇り 当番 伊藤儀一
 午前五時参拾分起床禊して六時拾五分点呼皇国運動、農具舎第二寄宿舍第一寄宿舍第二寄宿舍の兩便所掃除、其の後風呂場流しの下草刈して、前庭掃除襖場掃除其の後第一寄宿舍掃除して鍬一丁修繕して、後朝礼拝に出でたり。夕方再び農具整頓して夕上りした。鍬参丁、柄取れたり。

六月拾五日 日曜日 曇り 当番 伊藤儀一

午前五時起床禊して、六時点呼皇国運動、其の後農具舎第一第二寄宿舍掃除、其の後縄綱ひして礼拝したり。今朝の予定は鎌掛場作る予定でしたが、縄入用の為前庭掃除襖場掃除略しました。備中一丁柄取れたり。夕方一通点検したり。

左に御互の注意して貰ひたい事記載します。

一、農具掛場 Ⅱ農具を正しく掛けて下さい

一、畜舎当番は道場より乾草運搬の時成べく早く運搬して貰ひます。整頓に因〔困〕まりますから御互に早く御願ひします

一、農具を丁寧に洗ひませう。 以上

六月式拾日 金曜日 晴 当番 五十嵐壽作

午前六時起床しまして禊をし、六時半に集合して皇国運動しました。それから仕事の分担をしまして、各自分担に働きました。第一番二舎庭掃除、第二番に第一寄宿舍の廊下掃除、第三番に便所掃除、第四番に第一寄宿舍の廊下と土間の掃除、第五番に農具整頓、点検、掃除しまして、九時朝食しました。

六月二十一日 土曜日 曇 当番 五十嵐壽作

午前五時起床致し、禊を致し、五時半皇国運動致シテヨリ第二寄宿舍の整〔清〕潔、同舎内ノ兩便所掃除、第二寄宿舍ノ土間掃き、第二寄宿舍ノ兩便所掃除致し、農具舎整頓しまして点検スルニ開墾鍬、備中鍬、唐鍬、鉈、鋸等不足して居ります。

注意

一、農具は御互に奇麗に洗ひ所定の場所に正しく掛けること。

〔以下の日付が前後するのは、十六日に記入する際にページを飛ばしたため、十六と十九

日分と、二十〇二十一日分の順序が入れ替わったと思われる。」

六月拾六日 月曜日 雨 当番 八田又治

本日ハ雨降りデ有リ、又前夜豚ノ死亡ニヨリ夜オソキ為、朝ハ六時マデ床ニ付イテオリマシタ。ソレ故寄宿舎（一、二）内、便所、農舎ダケヲ掃除シマシタ。以上

六月拾七日 火曜日 雨 当番 全

午前五時起床襖後点呼皇国運動、農具舎寄宿舎（1、2）及両便所井戸端等掃除後礼拝ニ出デタリ。

注意、農具ノ裏ヲヨク洗ツテ下さい。夕方農具ノ点検シタリ。

六月拾八日 水曜日 クモリ 当番 全

午前五時起床襖点呼皇国運動、農具舎寄宿舎ノ内外両便所庭井戸端掃除。除草後礼拝ニ出ル。

所感、整理当番ハ一人デハ少シ時間ガ足り無イ様デス。農具異常ナシ。

六月拾九日 木曜日 クモリ 当番 全

本日ハ五十嵐君ニカワツテ整理当番ヲヤル。掃除スル所ハ大方前日ニ全ジ。夕方農具点検ス。農具異常ナシ。以上当番者 八田又治終り

六月二十二日 日曜日 曇 当番 寒河江喜蔵

午前五時起床襖して六時に点呼並に皇国運動後寄宿舎を掃除し緬羊畜舎附着〔近〕を掃除す。農具舎整頓してより井戸ばた、第二寄宿舎東等掃除終り、九時朝礼す。

六月二十三日 月曜日 曇時々雨 当番 寒河江喜蔵

午前五時起床、五時半点呼後便所の掃除して手洗水両寄宿舎便所におく。その後農具舎鎌を整頓して朝礼する。朝飯後第二寄宿舎掃除する。夕飯前農具点検す。

六月二十四日 日曜日 晴 当番 寒河江喜蔵

今日点呼後両寄宿舎掃除して農具点検整頓す。時間があるので第二寄宿舎附近除草した。一、所感、第一寄宿舎に多くの下駄があつまり第二寄宿舎は不便を感じる。以上注意しなけ

ればならぬと思ふ。

六月二十五日 水曜日 雨 当番 海谷久右エ門
 午前五時起床、禊。五時半点呼後皇国運動ノ後、農具点検、整頓、間違アリマセンデシタ。
 両寄宿舎ノ掃除、並ニ両便所ノ掃除ヲ致シ、井戸バタ炊事場ヨリ流レテ来ル汚物等ヲ掃除。
 マダ時間ガアツタノデ附近ノ雑草取りヲ致シタ。夕方農具古物ノ新調、又大鎌三、中鎌九
 ヲ新調致シタ。

六月二十六日 木曜日 晴 当番 海谷久右エ門
 朝午前五時起床、五時半点呼後皇国運動ノ後道場掃除致シテ後第一寄宿舎ノ下前ノ薪木置
 キ場ヲ掃除、外便所ヲ整ヅケ附近ノ塵掃除、又所長先生ノ御手伝ヲ受テ今日ノ整理ヲ終ツ
 タ。

六月二十七日 金曜日 晴 当番 海谷久右エ門
 午前五時起床禊、五時二十分点呼、皇国運動ノ後第一第二ノ両便所掃除、両寄宿舎掃除ノ
 後、庭又井戸バタノ掃除、畜舎前ノ草取り。昼食後農具点検整理。

六月二十八日 土曜日 曇 当番 和田英造
 午前五時起床禊点呼皇国運動農具室整頓し並に掃除し、第一、二の便所掃除し、両雨土間
 掃除した。畜舎前も掃除し第一の廊下清潔した。夕方には出入の農具を点検した結果刀鋏
 一丁破損。以上

六月廿九日 日曜日 晴後曇 当番 和田英造
 午前五時起床禊点呼皇国運動し朝礼終る。第一、二の渡り庭掃除農具室整頓並に掃除、両
 羽便所掃除、畜舎前も掃除し、井戸端附近の排水溝清潔し庭掃除終る。朝には出入の農具
 点検、夕方には同じく農具点検。以上

六月卅日 月曜日 曇 当番 和田英造
 午前五時起床禊点呼皇国運動し朝礼し、舎外掃除農具舎整頓し掃除し、第一、二土間掃除、
 井戸端の排水溝清潔し、朝農具点検、同く夕方も点検しました。終り。

所感、窓から紙其の他色々の物投げない事を願ひます。

七月一日 火曜日 雨 当番 大宮門四郎

朝五時起床シテ全員禊ヲシテ五時半ニ、今朝雨降りナル為メニ、道場ニ集合シ人員ノ点呼、直ニ皇国運動ヲ行ヒ各分担ニ依リテ働ク。先ツ農具舎ニ入りテ農具ノ点檢致シタリ。唐鋤ハ標準ヨリハ二十九丁、開墾鋤モ十五丁モ不足シテ居ツタリ。他ハ異上〔異状〕無カツタリ。次ニ第一宿舍便所ノ土足用ニ上板ヲ三枚ヲ打チ付ケタリ。後掃除シ道場ノ入口ヲ掃除シ、第二宿舍ノ土間又便所ヲ掃除シテ、入口ヲモ掃除シタリ。後ニ井戸端ハ非常ニ乱雑ニナリテ居ツタノデ掃除シテ、溝ヲモ掃除シタリ。庭ハ雨降りノ為ニ掃除セズ、但シ大物許リ手ニテ拾ヒテ、八時半道場内ニテ礼拝シテ九時朝食ヲス。夕方モ一度点檢シタリ。開墾鋤一丁柄取レテ居タリ。

七月二日 水曜日 晴 当番 大宮門四郎

朝五時ノ合図ニテ全員起床シテ五時半ニ庭ニ集合シテ点呼ヲシ、直ニ皇国運動ヲ行ヒテ、先ツ鉋、鋸掛場ニ番号ヲ付ケ、次ニ両便所雑巾ニテ布キ掃除シテ、庭ハ藎苔下シヲシテ居ツタノデ、第一宿舍ノ裏ヲ掃除シ、襖場ヲ掃除シ、第二宿舍ノ裏ヲ掃除シ、後農具ノ整理農具舎ノ掃除シテ九時礼拝シテ朝食シ、後薪炭置場附近ヲ掃除シ、十時ヨリ仕事ニ着手シ、二時半昼食シテ後直ニ庭ノ除草又掃除ヲ行ヒタリ。夕方農具ノ点檢ヲ行ヒテ礼拝シテ後除草ヲ行ヒテ、八時半上リタリ。農具異上〔常〕無シ。

七月三日 木曜日 曇 当番 大宮門四郎

今朝五時ニ全員起床シ、襖ヲ行ヒテ五時半ニ庭ニ整列致シ人員点呼ヲ終シテ皇国運動ヲ元氣良ク終シタ。後直ニ第二宿舍ノ裏ノ薪炭ヲ方付ケテ第一宿舍ノ両便所、又入口ノ土間、又農具舎ノ整理整頓ヲ行ヒタル処、唐鋤ハ新作致シタノデ多クナツテ居ツタリ。次ニ第二宿舍ノ両入口又両便所ヲ掃除シ庭ノ雑草ヲ取り掃除ヲ行ヒタルモ、時間ニナリタノデ残シテ礼拝ヲシ、終リテヨリ掃除ヲ終シテ朝食シタリ。夕方一通り農具ノ点檢ヲ行ヒタルモ異上無シ。

所感、早ヤ三日間ノ整理当番モ思フ様ニ整理整頓ノ及バスナガラ一通致シマシタ。但庭全部ノ雑草ヲ取ルコトノ出来得ナカリシ事ヲ残念ト思ヒ居リマシタ。当番中感ジタ事ヲ二、三左ニ記シマス。

先ツ農具ノ事デスガ、使用後ハ必ず土ヲ落シテ良ク土残りノ無ク洗ヒテ所定ノ置場所ニ正シク掛ケ置クコト、又農具ハ農人ノ武器トモ称ス、農具ヲ丁寧ニ使フコト。又整理ト掃除ハ一方ヨリ段々順序ヨリ成シテ行クコト。其シテ真剣ニヤルコト、其シテ御互ニ整理ト云フ事ヲ真ニ理解シ得レバ、一寸シタ紙屑等モ置場所外ニ散乱スルト云フ事ハ無キ事デハ無キカト考ヘラレルガ、如何ナルモノデアラウ？ 此レ等ハ自治的精神ニ反シテ居ル事デハ無キカト考ヘラレルガ、此ノ後ハ最ウ少シ自發的ニ、其シテ自治的ニ御互ニ氣ヲ付ケ合ツテ、最モ理想ノ高天原ニ致シマセウ。

七月四日 金曜日 晴 当番 佐藤賢三

朝五時ニ全員起床シ禊ヲシテカラ、五時半ニ庭ニ整列シ人員点呼シ後皇国運動ヲ元氣ニテ終リ、後第一、二舎ノ便所ヲ掃除シ、入口土間第二舎ノ板之間ヲ掃除シ、後道場ノ南外ヲ掃除、第二舎東北同ジ、又畜舎外ヲ掃除シ農場運動場又テント外等掃除シ、又農具舎ヲ点検シ終リ、九時半ニ礼拝シテ朝食スル。唐鋤式拾九丁、開墾鋤十八丁。私ハ農場ニ来テヨリ始メテニアタツタ当番デ、人々ハ整理当番ハヒドイト言ヒマシテオリマシタガ、私ハ案内樂ク出来上ツタ。

七月五日 雨 当番 佐藤賢三

朝五時ニ起キテ禊シ五時半ニ雨降ル為ニ道場集合シ点呼、皇国運動後第一二ノ土間板之間等農具舎掃除シ道場ヲ整トシ整理シ農具点検シマシタガ、林山鋤拾丁、中耕鋤拾五丁（三丁不足ス）備中三十九丁、夕方同ジ点検シ七時半過ギ礼拝シテ食ス。九時半前礼拝シテ起□就イタ。

七月六日 雨後曇 当番 佐藤賢三

朝五時起床禊シテ、五時半雨降りノ為ニ道場ニテ点呼、皇国運動後第一二舎土間廊下等又道場ヲ掃除、又第一二舎便所掃除、手洗水ヲクミカヘシ、後農具点検唐鋤三拾七丁（不足八丁）、シヤベル拾二丁、開墾鋤式拾丁、備中三拾九丁中耕鋤拾壹丁、新ラシイ鎌四拾丁出来タ。

所感、整理当番モ早ヤ終シマシタ。便所ノ土間ニ上ル「ウジ」ヲ上ルコトヲ止メルコトガ出来ナクテ残念ニ思ヒマス。当番中感ジタ事ハ自分使ツタ農具ヲ清レイニ洗ツテ一定ノ場所ニオクコト。必ラズ便所ノ戸ヲシメルコト、自治的ニ氣ヲ付ケテ下サイ。以上

七月七日 月曜日 曇 当番 今野重四郎

朝五時起床襖後人員点呼皇国運動を終り、土間第一第二舎の掃除致し、板之間便所を掃除致し農具舎整理其後、風呂場流しの下を掃除致して、朝の礼拝に出たり。

七月八日 火曜日 曇 当番 今野重四郎

起床後襖五時半より人員点呼皇国運動も終り、第一第二土間及板の間を掃除致せし所、多くのウジ虫居れり。うじ虫の駆除致さん為めにマセウノ葉を煮る。後便所を掃除。最後農具舎点検異状なし。朝食後マセウ汁を第一及び第二の両便所にふる結果は二日位でわかるだらう。

七月九日 水曜日 曇り時々雨 当番 今野重四郎

五時起床襖大和働を終し第一第二の土間及板之間便所を掃除、屋外便所を仕末致し、農具点検異状無し。夕方もう一度点検せし所畜舎用のホーク柄取れ居れり。

所感、三日間の整理当番終る。而し残念な事は便所にマセウ汁を入れたが効果無く、ウジ虫退治する事出来なかつた事は実に遺憾だった。此の次の整理当番の人は何にか善き効果のある駆除方法を考ゑてウジ虫を退治して下さい。

七月十日 曇 当番 田中秀穂

やまとばたらきをやり庭を掃除し、便所を掃除し肥掬みをやる。第一第二寄宿舍の土間を掃除し板の間をなく。

七月十一日 曇 当番 田中

庭、第一、第二、寄宿舍、土間、板の間、両便所掃除す。

七月十二日 曇後晴 当番 田中

庭、第一、第二、寄宿舍、土間、板の間、両便所掃除し、農具を点検し農具舎を掃除したり。

七月拾参日 日曜日 雨後晴 当番 安達彌三輔

朝五時起床、全員禊、五時半より道場に集合し点呼及び皇国運動をなす。後第一第二両寄宿舍を掃除し両便所をも掃除をせり。今日は雨降りであるからお庭の一部分を掃いて止めたり。牛も□□三つかつぎも□□二つ依りました。

七月拾四日 月曜日 晴天 当番 安達

午前五時起床禊五時半より全員点呼、皇国運動をしました。直に第一第二寄宿舍を掃除し、又両便所をも掃除せり。掃除が終わると下駄の尾〔緒〕を□まして、朝の□□に出たり。食後道を掃きました。

七月拾五日 火曜日 晴 当番 安達

皇国運動を終えて直に第一第二寄宿舍を掃除しました。便所を□なせり。掃除を終えて第一寄宿舍の便所の肥糞をしました。そして朝の礼拝に出たり。朝、晩、二回農具点検をせり。

所感、皆が農具を奇麗に洗つて農具舎に持つて来るので、実に気持良し。便所に行つたら必ず戸を閉めて来る事。

七月十六日 水曜日 晴 当番 後藤清治

皇国運動後庭全部掃除し第一第二寄宿舍の土間を掃除し板の間をふく。第二寄宿舍の方の小便をくみ取りたり。井戸端の排水溝を掃除した。

七月十七日 木曜日 晴 当番 後藤

庭第一第二寄宿舍土間ノ板の間両便所掃除、肥桶の網取りかへました、（全部）。両便所に石灰をふりました。朝食後農具点検、農具舎掃除。

七月十八日 金曜日 晴 当番 後藤

朝食前第一第二寄宿舍土間、板の間掃除、両便所掃除、食後すぐ葉山へ出発。
一作〔昨〕日作〔昨〕日の刈野刈に使用せし下刈田大鎌五打ばかり、こわれた。使用せし農具はかならず使用せし人が農具舎に入れられたし。作〔昨〕日鎌肥桶は外に其のまゝ置きざりにし有りたり。以上。

〔以下、赤鉛筆で〕盛夏暑熱甚だし。便所掃除、縄蛆退治（生石撒布、アキシヨギ汁撒布

均一ニスル事）緊急ニ心得ベシ。農具は農人の魂、清潔に大切に使用すべし。
打降ふ 鋤刃の冴えのいや増して 双腕の力強まるられし □〔赤鉛筆は以上〕

七月十九日 土曜日 雨 当番 渋谷繁太郎

五時起床五時半点呼、皇国運動終りてすぐ取りかゝる。一つ二つと雨が降つて来たので外の最も見にくくなつてゐる処を片着け、後舎内の土間及び第二舎の板の間を掃除す。終りて農具舎を整理す。唐鋤中耕鋤等入乱れてかけてあつたので少し時間を要したが一つ一つ使へるか使へないかを点見〔検〕す。開墾鋤二丁備中三丁草刈鎌三丁大鋤十丁の破損してゐるのを発見す。

七月廿日 日曜日 曇 当番 渋谷繁太郎

五時起床五時半点呼終りて皇国運動を道場にて行ふ。第一第二舎の土間及び板の間を掃除する。終りに便所、舎外を掃除す。次に農具舎の中を整理す。

七月廿一日 月曜日 曇 当番 渋谷

五時起床五時半舎内にて点呼及び皇国運動を行ひて直ちに仕事に取りかゝる。農具舎内第一舎の土間、第二舎の土間及び板の間を掃除す。終つて両舎の便所を掃除す。舎外を掃除して便所の草履を出す。

（感想）三日間の当番も今日で終つた。自分が後をかへり見ると何としてした事もない様な気がする。併し世の中で最も感じた事を記しませう。畜舎当番が牛に入る乾草を、整理当番が掃除した後に道場から持つて行かれると、二回も同じ処を掃除しなければならぬから、成るべく畜舎当番は早く持つて行かれない。

七月廿二日 火曜日 当番 鈴木三郎

五時起床襖皇国運動直ちに整理に掛る。農具舎、第一第二舎内土間掃除舎前の一部を掃除す。便所掃除、何分最初の当番であつた為か、全部に廻り兼ねた事は残念だつた。但し見にくい点だけは掃いた。新調の鎌二十丁、草刈に出す。相当齒コボレがあつた。草刈には全部で九十二丁を用ふ。中三丁破損す。午後より唐鋤十四丁を用ふ。

七月廿三日 水曜日 当番 鈴木三郎

朝の行事を終えて整理に取り掛る。農具舎便所等は常の如く掃除す。八田君のお伝ひで漸く大体掃除された。今日道路作り等に唐鋤鎌を用ふ。それで何時故障もなく収つて居るかどうか心配である。

七月廿四日 木曜日 当番 鈴木三郎

農具整理、唐鋤二丁破損、鎌五丁破損。便所土間第二寄宿舍、舎前少し掃除す。時間が短い為か自分の為か充分ではなかつた。

所感、整理当番は初めてだったのであるが、三日間を通じて誠に不行届きであつた。不潔な処を美化するのは之皆大君の為である。又さうした後自己を満足さすべき何ものかが存在する事を決して見逃し得るものでない。以上

七月廿五日 金曜日 雨 当番 石井説雄

午前五時起床后直ちに第一第二寄宿舍内土間両便所を掃除す。農具を点検した結果、鎌七丁破損致して居りました。又新調の鎌の大部分は刃こぼれをして居りました。何しろ始めての当番でもあり時間も短かいので思ふぞんぶんにする事出来なかつた事は残念であり、舎前も一部分しか出来なかつた。

七月廿六日 土曜日 晴 当番 石井

例日の如し。皇国運動後直ちに整理に取掛る筈が、第一寄宿舍第二の土間農具舎内の掃除、第一第二の便所の掃除又石灰を散布したり。

第一舎第二寄宿舍間の庭を掃除す、一部分を。

所感、師範生登場致し居りました為、食事の時間が□額で朝時間は誠に短かつたのであるので、思ふぞんぶん出来なかつたのは二重の残念である。

七月廿七日 日曜日 晴後雨 当番 武田立男

皇国運動後直ちに第一二寄宿舍の便所を掃除し板の間をふきて土間廊下を掃除す。それより井戸端の排水溝を掃除して、朝食後第二寄宿舍の小便桶の小便をあける。農具以上〔異常〕無し。

七月廿八日 月曜日 晴 当番 武田立男

皇国運動後直ちに第一二寄宿舍の便所を掃除し石灰を散布し板の間をふきて土間等を掃除し井戸端の排水溝を掃除し後舍前の庭の一部を掃除し農具の点検するに以上〔異常〕無し。

七月廿九日 火曜日 晴 当番 武田立男

皇国運動後直ちに第一二寄宿舍の便所、農具舎を掃除し農具を点検するに以上〔異常〕無かつた。それより土間廊下を掃除し板間をふきて舍前の庭の一部を掃く。

所感

(1)三日間の整理当番を終る。而して残念な事には時間の短かきため思ふ様に行かなかつた事である。

(2)農具の事であるが、此れらの道具は我等の武器とも云ふべき物なるを以て、使用後は長く洗て所定の置場に正しくおくことが大切だと思ふ。

七月三十日 晴 当番 岩瀬喜三郎

五時半よりやまとばたらき後、内外庭掃除し第一第二両便所掃除、第一第二舎板の間をふく。農具舎を掃く。

七月三十一日 雲時々雨 当番 岩瀬

庭第一第二寄宿舍板の間井戸端を掃除す。夕方農具舎を掃く。

八月一日 午前晴后々 当番 岩瀬

庭第一第二寄宿舍土間板の間便所を掃除す。農具点検し農具舎を掃除す。井戸端の排水溝を掃除す。以上

八月二日 雨 当番 相田助左エ門

皇国運動直ちに舍前の掃除、第一第二宿舍の掃除、農具舎の掃除、襖場を清潔にする。第二宿舍東に在る小便桶をきれいにす。最後に第一第二宿舍の便所を自分は残る所なく徹底的にやりました。

八月三日 曇 当番 相田助左エ門

大久保の高谷牛屋に見学に行く為め朝四時半起床し点呼をやり直ぐ朝仕事となる。第一第

二宿舍の掃除、舎前の掃除を終し襖場を掃除す。最後に両舎の便所を掃除せり。

八月四日 晴 当番 相田助左エ門

皇国運動後直ちに舎前の掃除、第一第二舎の土間の掃除板間の掃除襖場を潔れ〔きれい〕にす。第一第二宿舍の便所を掃除せり。

所感、潔れに掃除した後の気分は実に清々せるのでした。以上。

八月六日 晴 当番 石山長衛

朝五時起床襖をやり皇国運動後直に第一舎第二舎内の掃除、農具舎内の整理整頓農具点検襖場の清潔及び第一第二舎内の便所を掃除せり。今日から短期講習有り、后後からぼつぼつ来たる。以上

八月七日 晴 当番 小松喜平

朝五時起床襖をして皇国運動後直ちに第一舎二舎内の掃除、襖場、清潔及び第二第一両便所掃除をす。農具整理をす。

八月八日 晴 当番 小松

皇国運動して第一第二舎内掃除、両便所清潔にして農具舎掃除農具整理道場両方の入口掃除、第二舎前をはきて襖場を掃除す。小便をくむ。

八月九日 当番 小松

皇国運動をしないですぐ仕事に従事す。農具舎を掃除して農具整理して第一舎の便所を掃除して道場前をはきて第二舎を掃除し便所を掃除して便所に石灰をふる。

八月十日 当番 小松

五時に起床して五時半に点呼終りて第一第二舎土間掃除、両便所掃除をして道場の前、第二舎の前をはきて、襖場を清潔にして農具を整理して農具舎を掃除す。以上

八月十一日 晴 当番 小林洗

皇国運動し直に農具の整理しそれより第二寄舎の便所を掃除す。後畜舎の前整理す。第一

寄舎の便所掃除し後庭をハキ又禊場の清潔す。終り

（所感）所長先生、私登場来、此の位い御面白くない日はありませんでした。それは私が農場の□に整理当番とを取りかえたので□で一晩。お面白ないので午前の三時頃まで寝られませんでした。男の恥、又日本男子の恥である。以上

八月十二日 当番 小林洗

農具舎の農具を整理し及第二寄舎便所の掃除し、庭をハキ後禊場の清潔し後畜舎の前を整理し及第一寄舎便所の入口を掃除し。以上

八月十四日 晴 当番 伊藤正憲

今日ヨリ四時起床スル。皇国運動スル。庭園ヲ掃除、又兩便所舎内掃除スル。農具ノ整理スル。

注意、又便所桶ニ上手ニ命チュウシテタレテ下ダサイ。デナイト我々農場ノ不経済デアリ又ミツトモナイカラデアル。六時ニ上リ。以上

八月十五日 晴時々雨 当番 上全

礼拝シ庭園便所舎内ヲ掃除スル。農具舎ノ唐鍬ハ多クコワレテオリマシタ。又四方モ整理スル事ニ中耕ト時スル事ニ致シマセウ。一便所ノ水桶コワレテオリマス。以上

八月十六日 晴時々雨 当番 全

礼拝シ庭園ヲ掃除シ農具舎内便所、畜舎ノ前、炊事場ノ裏ヲ掃除致シマシタ。
注意、排水溝ニチリ又土ヲオカヌヤウニ才願致シマス。昼ヨリ休ミ。

所感、農具ヲ丁寧ニ洗イマシヨウ。以上終り

八月十七日 晴 当番 後藤清治

起床後礼拝、後第一第二寄舎内外掃除、農具舎を掃き、兩便所掃除、便所に石灰散布せり。朝食後農具点検せり。

八月十八日 晴 当番 後藤

朝食前第一第二寄舎内外掃除。両方の便所掃除し農具舎整理庭を掃きたり。

八月十九日 晴 当番 後藤

皇国運動後両寄宿舎内外掃除、庭を掃き農具点検両便所掃除。小便をくみ取る。注意、お互い農具は所定の場所に置きませう。ことに鎌は鎌かえにかけて下さい。

八月廿日 雨 当番 大宮門四郎

雨模様の為に薪炭小屋方付けて薪炭を入れ後他三人にて小し手伝ひ下さり、後僕一人にて第二舎裏ノ薪炭を積み重ねて掃除し及乾燥置跡を掃きて後下水溝の浚渫井戸端の清潔整頓を行ひ、第一第二の便所掃除及土間掃除を行ひ、第二宿舎の北を掃除して農具舎掃除、農具の整頓を行ひたるに唐鍬十五丁備中三丁損じて居た。

備考、昨日迄の好天氣の為に井戸端水風呂場前の溝の中に無数のうじ出て居つたので非常に気持悪く感じたので直早く流し出して掃除を致しましたが、一人当番の行違ひ許りでなくお互いに気を付けて清潔にし何時でも禊払ひの時の明い気持でやりませう。

八月廿一日 木曜日 曇 当番 大宮門四郎

あつ晴れ、あな面白、あな手伸し、あなさやけ、おけにて早速鎌を手にして井戸端にと駆けよりにて、先づ炊事場の東の道下を刈草し南方をも刈りて井戸の上を刈りて井戸の周囲を刈り、又不要の枝をも切り取りて井戸を美化せしめた。其して立上りて見たら何となく心地良く、此れ自分のなしたる事ではなく、天の恵みと思ひ深く感謝せざるを得なかつた。今日は前庭も散乱しては居らなかつたので、又農具も昨日は休みであつたために農具は異上〔異常〕なき事と思ひ刈方に許り一意徹して仕事をやりました。

八月廿二日 金曜日 晴 当番 大宮門四郎

皇国運動弥栄を漸くにして三晶〔三唱〕致して直に第一宿舎の両便所を掃除し石灰粉を撒布して農具の点検整理整頓掃除して入口及広庭を掃除シテ第二宿舎の両土間又両便所又洗手水の入換へをして第一宿舎入口の土間を掃除して禊場及井戸の周囲を掃除して当日の朝の整理は終りたり。

農具破損、大鎌拾参丁、中鎌拾五丁、唐鍬拾六丁。

備考

一、使用せし農具は丁寧に洗ひて処定の場所に正しく置かれたし。

一、農具を丁寧に大切に使いませう。
 一、お互に清潔に致しませう。以上

〔以下四行分、見せ消ちにした上で上からびったり紙が貼つてある。読みとれるので、下に掲出する。〕

八月廿三日 土曜日 整理当番 羽角順太郎

午前五時起床、朝禊後皇国運動後第一第二寄宿舎並に両便所掃除並に井戸端の清浄。農具舎の整理は時間の関係上整理出来なかつた事は残念であつた。〕

八月廿參日 晴 土曜日 整理当番 羽角順太郎

午前五時起床、朝禊のち人員点呼、皇国運動のち第一第式宿舍掃除並に両便所掃除、井戸端の清浄をなす。朝より蕪麦の脱こくなるが故、農具は使用せず。

八月廿四日 曇 日曜日 同 羽角順太郎

同五時起床、皇国運動のち第一第二両便所掃除、農具舎の整理整頓なす。近頃暑いためか蓑にな等が諸所に乱雑になつてはなはだ見苦しい。齊籐君が一定の場所に蓑掛場所にペーパーを貼つたはずであるから、定まりの場所に掛けてほしいものである。農具の方には掛けないでほしい。中耕開墾唐鋏も赤鯛同様最と「もっと」丁寧に取扱つてほしい。午前午後共乾草刈りのため大鎌使用す。鎌のこはれたものは箱に入れず普通の鎌ト区別して下さい。すべての農具も同様御願ひます。

八月廿五日 快晴 当番 羽角順太郎

同午前起床朝みそぎ後人員点呼、皇国運動のち第一第二両便所掃除、第一前第二西北並ニ東庭〔庭?〕を掃除をなす。排水溝〔溝〕は時間の関係上出来なかつた。午前中は乾草運搬のため草刈鎌使用す。第一寄宿舎の小便所ニ無数のうぢが發生しました。徹底的ニ駆除する方法は無いでせうか。午前中乾草運搬、午後乾草刈、五時半頃雨模様トナリ乾草運搬をなす。夕方外便所ノ小便ヲ吸〔汲〕ム、一肩。

感想

午前中は快晴にめぐまれ乾草運搬も思いの外計取り、午後も乾草刈の方は中止致し各班共力一致乾草運搬に全力を集註してどうやら六時頃には全部終りました。乾草入れの方も各

自各分担ニ応じてやりたる結果、六時半頃には出来ました。雷は春頃で盛んニ鳴んじ朝霧山には黒雲がおし寄せ、農場は雨まさに降らんとしておる有様、それに乾草は可成り有口し、それに人員不足、しかし各自それぞれの能率増進ヲ考察して、どうやら雨の降らぬ内に全部かたづけてしまひました。ぼんやりとしておりますから感想としてはまとまつておりません。

夏日の整理当番心掛

何と言つても第一、便所の清潔（汲出を早くして蛆退治をなすこと）、外面の掃除丁寧なすこと。石灰撒布、悪所木汁注加

第二、排水溝の浚渫、風呂水の撒水、鶏舎裏の溜水を堆肥に撒布すること。

第三、真清水附近の清浄、炊事残滓、洗濯物などおかぬ事。

第四、汗に汚れし蓑等を乾すこと。

八月廿六日 火曜日 晴 当番 五十嵐壽作

午前五時起床して襖に身のけがれを去つた。五時三十分人員点呼、皇国運動、其後蓑と荷縄の整頓す。蓑三十九、荷縄十五本。

其後便所清潔、第一第二寄宿舍内の土間整潔〔清潔〕してから井戸端整潔、午前中の南瓜と西瓜の除草に中耕鋤十二丁使用す。午後は苗圃に行きましたので農具使用せず。以上

八月廿七日 水曜日 曇 当番 五十嵐壽作

午前四時三十分起床、襖して五時点呼を取り皇国運動も勇ましく致せり。直ちに両便所掃除し炊事排水溝の清潔してより第一第二農具舎の土間清潔終りて薪積みに手伝す。八時三十分朝食、夕方農具点検す。

八月廿八日 曇 当番 五十嵐壽作

午前四時半起床、襖して五時点呼。皇国運動してすぐ便所掃除して其れから井戸端、排水溝清潔す。第一第二寄宿舍内の土間、掃除舎外清潔、鶏舎裏の溜水ヲ堆肥に撒布す。朝食八時今日より一週間寒河江君が農具専任となつたので点検をやめた。今日は短期生登場なので皆んな清潔をしましたので農具使用しません。

八月廿九日 金曜日 当番 五十嵐壽作

午前五時起床、禊して五時三十分人員点検、皇国運動して直に両便所掃除、第一第二舎内の土間清潔、井戸周囲の清潔を致してから下駄の緒たてを致しまして七時礼拝して朝食す。朝行事終り。

午前中は講演で農具使用せず。午後二時三十分より六時迄除草（小豆大豆）にて中耕鋤大鋤共二十丁使用す。中耕鋤一丁こはれました。

八月卅日 土曜日 曇 当番 本間直二郎

朝五時起床禊皇国運動ノ後、直チニ当番ニ取掛ル。農具舎ノ清潔正頓掃除及第一寄宿舍前、第二寄宿舍前後庭ノ掃除、炊事場ノ薪置場ノ整理掃除、便所掃除及農具舎前及第二寄宿舍後ノ野外便所ノ汲出シ第老寄宿舍ノ后方掃除セリ。

八月卅一日 日曜日 曇 当番 本間直二郎

全朝五時起床禊皇国運動ノ后直チニ便所掃除（第一及第二）及三野外便所ノ汲出シ前庭ノ掃除及第二寄宿舍ノ掃除、薪置場掃除手入農具舎ノ手入掃除第二及第一寄宿舍ノ土間掃除廊下雑巾掛ケ及井戸端ノ清浄。

九月一日 月曜日 曇 当番 本間直二郎

朝五時起床同様禊皇国運動后、本日ハ羽角君ト二名デ行フ。第一第二寄宿舍両便所ノ掃除、前面庭全部掃除、第二寄宿舍后方掃除、野外便所ノ汲出シ農具舎ノ整理掃除、第一及第二寄宿舍土間ノ掃除、廊下ノ雑巾掛排水溝ノ掃除、及薪置場の整頓掃除、以上所感、自分ノ不注意ノ為不行届ノ点が多々有リ澄〔済〕ミマセンデシタ。一般ニ講習会ノ為朝仕事時間短ク思フ存分ヤレヌノガ残念デシタ。ソレカラ講習会デ種々忙シイ勢デセウガ、炊事部デ薪ノ取方ガ乱雑ノ様ニ思ワレマシタ。以上短期講習中とて一切の整理を迅速に正確に行ふべし。

九月二日 火曜日 晴レ 海谷久右エ門

朝四時四十分起床、禊、皇国運動、後、羽角君ノ御手伝二人デ直チニ当番ニ取り掛ル。羽角君第一第二寄宿舍並ニ両便所ノ掃除ヲ致ス。僕ハ外便所ノ汲出シ、並ニ第一第二寄宿舍畜舎等ノ前庭掃除、又禊場ノ整理農具整頓ハ農具整理当番ガ致シタ。午前七時ニ今朝ノ当番ヲ終ル。

九月三日 水曜日 当番 海谷久右エ門

朝五時起床襖皇国運動、後、当農場始マツテ以来十年ハ拾週年記念ノ式ヲ上ラレタ（朝作業中時間ニ）其ノ後当番ニ取り掛ル。外便所ノ汲出シ。第二寄宿舎ノ掃除並ニ便所ノ掃除。午前七時三十分ニ当番ヲ終ル。

所感、今朝ハ記念ノ式ニ出タノデ当番ノ時間ガ少ナカツタノデ、当番ノ仕事ガ思ウ適〔様〕ニ出来ナカツタ。誠ニ申訳ケ有リマセンデシタ。

九月四日 木曜日 雲り 当番 海谷久右エ門

朝五時起床襖皇国運動前（五時式拾分）ヨリ当番ニ取り掛ル。今日ハ知〔短〕期講習会ノ終了日デ有ルニヨツテ、長期生全員ハ朝作業ヲ整理ノ方ニ掛ツタ（寄宿舎、畜舎等等ノ前後庭ノハキ掃除ヲ致ス）。僕ハ外便所ノ汲出シ。第一第二両便所ノ掃除致シテ七時ニ終ル。所感、今日ハ知〔短〕期講習会ノ終了日、我等五名（田中君以下）ハ今朝夢明ニ起キ出デテ途足ヲモツテ家ニ帰ヘロト致シタ。ソコデ所長先生ハコノ混雑ニ少シク自重致シテクレト長期生ノ本分ヲ御話致サレタ。我等感激シテ思ヒトマツタノデ、今朝ノ当番ハ嗚呼感激ニ生キル□□□□非常ナ真剣ニ致シタ孝デ有ル。

〔この後、行をあげることなく九月十二日の記載に続く。理由は不明である。〕

九月十二日 金曜日 晴 当番 田中秀穂

朝五時起床やまとばたらきをやり、後両便所第一第二寄宿舎を掃除し小便をあげたり。下駄の緒をたてる。

九月十三日 土曜日 曇 当番 田中

やまとばたらきをやり両便所第一寄宿舎第二寄宿舎庭を掃除す。

九月十四日 日曜日 雨後晴 当番 田中

やまとばたらきをやり両便所第一第二寄宿舎庭を掃除す。農具舎を整理す。

九月十五日 十六日、十七日 整理当番休み

九月十七日 雨曇 当番 鈴木三郎

朝五時起床、皇国運動後、農具舎兩便所掃除、第一第二寄宿舎掃除。舎前の掃除は漸く終え得た。雨の降る庭は秋らしい土の香が漲つて居つた。

九月十八日 曇雨

皇国運動後兩便所第一第二寄宿舎、舎前掃除、かくして掃除するのも後幾日あたるものやら、すべてが懐しく思い出の種となる事だらう。

九月十九日 曇

朝五時起床、皇国運動後兩便所第一第二寄宿舎舎前庭掃除、我々が慣れ親んだ農場、特に庭などはどれ程我等の足跡を残した事だらう。かうして感慨無量の中にも残り少ない我等の生活を一分でも一秒でも今迄育ぐんでくれた此の農場に対し、幾□らでも払ひ清めてやる事は万分の一の御恩報じであるまいかと考へた。こゝを去る、そして私達の心を受け継ぐ幾多の□□がこゝに来て又同じ様に掃除する運命と言はふか因縁と言はう、つながる縁こそ弥栄の道であらう。

九月廿日 晴 当番 渋谷

皇国運動終ると第一第二寄宿舎の土間及び便所板の間を掃除をし、外も行ひ井戸端も掃除す。

九月廿一日 晴 当番 全

昨日大石田小学校の高等科の生徒等来て一夜を第二舎に明かしたので、第二舎の土間等の見にくい事は大いしたものであつた。其れ等を全部片着け、昨日の様式で掃除す。午食后毛布の片着をする。

九月廿二日 曇小雨 当番 渋谷

第一第二舎の兩便所及び土間周囲を掃除し、昨日の大石田生徒等が取つたさゝげの□を片着け井戸端等を充分に掃除し。第二舎の板の間をふく。きれいになつて行く其のあとを見る時、心がかわりして来る。殊に晴天な日等は一層其の感を深くする。此の頃からブドウが出て来たが、食べる時に成る可く一定の場所にて食ひ、あつちで少しこつちで少しと食

べられると当番が面当〔倒〕ですから御願ひします。以上

九月廿三日 雲後小雨 当番 石井説雄

例日の如く五時起床後舎前に於て皇国運動を終えて直ちに製理〔整理〕に取掛る。第一寄舎の土間第二寄舎の便所並に土間を掃除致して第一寄舎の便所を掃除し農具舎行きで農具の乱雑に成りて居るので之を一大製理す。土間を掃除致して礼拝して朝食を致す。

九月廿四日 水曜日 晴 当番 石井説雄

朝の行事を終えし後直ちに製理に取掛る。第一寄舎の土間及第二寄舎の板間土間を掃除致してより両便所を洗ひて農具舎続きの倉庫の前を取り片付ける。後第一第二寄舎前を掃除致して礼拝致す。

九月廿五日 木曜日 晴 当番 石井説雄

皇国運動後あつぱれの気分にて第一寄舎の土間を清潔に致し同両便所農具舎を掃除致して第二の板間土間両便所の清潔に致して井戸付近を掃除、排水溝の浚渫致して小便をために入れたり。炊事場より第二寄舎間の庭をも掃きたり。自分の不注意で不始末の点は誠に濟なく思ふました。以上

九月廿六日 晴 当番 武田立男

朝五時起床後皇国運動の後直ちに第一第二寄舎の便所を掃除並びに土間を掃除す。又寄舎外の掃除もなし板の間をふく後農具舎を整理する。

九月廿七日 晴後雨 当番 武田立男

朝五時起床後皇国運動の後直ちに第一第二舎の便所を掃除し並びに土間舎外の掃除をなし、又板の間をふき井戸の掃除もなした。

九月廿八日 晴 当番 武田立男

朝五時起床後皇国運動の後直ちに第一第二舎の便所を掃除、並びに土間板の間舎外を掃除す。排水溝農具舎を掃除す。

所感

- 1、使用せし農具は良く洗いて処定の場所に正しくべし。
- 2、間戸〔窓〕より紙食物の残り物をなげぬ事。

九月廿九日 雲時々雨 当番 岩瀬喜三郎

五時起床やまとばたらき後第一第二両便所掃除第一第二の土間を掃く第二舎板の間をふく井戸端を整理す。外庭の一部をはく。

九月卅日 雨模様 岩瀬喜三郎

朝五時起床皇国運動後整理に取掛る。第二舎の便所掃除第一二舎の土間を掃き板の間をふく。小便をくむ農具舎を整理す外庭の一部を掃く。

十月一日 晴 当番 岩瀬喜三郎

五時四〇分より第一二舎の土間を掃き板の間をふく。第二舎便所を掃除す。井戸端を清浄、外庭の若干部を掃く。以上当番終り。

十月二日 雨 当番 後藤清治

早朝よりの雨にて朝各自自習。其の間に第一第二両舎内外掃除、両所便所掃除、農具舎を整理しました。

十月三日 雨 当番 後藤清治

今日も雨降にて朝は自習せり。雨降りにて庭は掃かず、第一第二両舎内外掃除し両方の便所を掃除、第二の方の小便をくみ取る。農具舎を掃き農具を点検す。

十月四日 小雨 当番 後藤

大和運動後第一第二寄宿舎内外掃除、両便所掃除風呂の煙突を掃除した。海谷君の応援にて両便所をくみ取り後庭を掃いた。

拾月五日 晴 当番 佐藤賢三

朝やまとばたらき終して第一二の便所内を、又土間板の間のふきはき掃除して庭も農具舎□整理掃除して道場の南側の排水溝を掃除して五日分終る。

拾月六日 月曜日 晴 当番 佐藤
朝第一二舎の便所板之間土間外庭農具舎等掃除又箒を五個作つて六日終る。

拾月七日 火曜日 当番 佐藤
朝から天気良く外でやまとばたらきをやつて後に第一二便所土間板之間等掃除、さらに農具舎又は庭道場南側第一舎の□等それぞれ掃除して朝礼拝に出たり。
箒を多数作りましたから庭其の他を清潔にしませう。又他の物でも気を付けてこわさぬやうにしませう。以上終り

十月八日 水曜日 晴 小林洗
朝五時床起し、皇国運動し、第一寄舎の入口を整理し、後両便所掃除しそれから庭園の掃除し、後農具舎を整理し、農具の点検し、以上終り。

十月九日 木曜日 晴 小林
朝五時床起し襖皇国運動後第一寄舎を掃除し後庭園を掃き、それから両便所掃除をやる。農具の掃除及点検をやる。第二寄舎の入口を整理をし後襖場の清潔し、以上終り。

十月十日 金曜日 雲 小林洗
朝五時床起し襖後皇国運動し後第一二の寄舎舎の入口を掃除をやり、それから両便所の掃除をやる。直に庭を掃き、それから襖の整理をやり後農具の点検及整理をやりました。以上終り。
所感、農具を丁寧に洗いましょう。常に便所を清潔にしまやう〔しよう〕。

拾月拾壹日 土曜日 曇 本間直二郎
午前五時起床襖皇国運動後直ちに当番に取り掛る。第二寄舎舎の便所掃除及両昇降土間の掃除理頓廊下の掃除、第一寄舎の便所の掃除及農具舎の整理掃除、寄舎舎前後の掃除、戸外便の汲出し排水溝の清潔す。以上

拾月拾貳日 日曜日 雨 本間直治郎

午前五時起床襖皇国運動取り掛る。第二寄宿舎の便所及土間廊下の掃除、第壹寄宿舎の便所及農具舎の整理掃除、庭園の掃除、第二寄宿舎裏の掃除、排水溝及清水附近の清浄、薪置場の取方付。以上

拾月十四日 火曜日 曇 当番 五十嵐壽作

午前五時起床襖皇国運動してより整理〔理〕に取掛る。第一第二寄宿舎の土間清潔農具舎の整潔整頓（唐鍬三十三丁、開墾鍬十八丁、中耕鍬十四丁、備中三十六丁）。庭掃除し第二舎の廊下ふき、下駄緒たて（五束）第一本作る。以上

拾月十五日 水曜日 晴 当番 五十嵐壽作

午前五時起床襖皇国運動しましてから当番に取掛る。第一第二寄宿舎内土間整〔清〕潔、戸外便の汲出し、農具点検（唐鍬三十三丁中二丁と、備中三十六丁中三丁、シヤベル六丁等水田作業に使用す）庭掃除等しました。夜点検異状ありませんでした。以上

拾月拾七日 金曜日 晴天 当番 海谷久左エ門

午前五時起床襖、皇国運動後直に当番に取り掛る。第一第二寄宿舎前庭の箒き掃除。第一の裏箒き掃除、炊事場下の排水溝のゴミ、掃除、農具舎の整理、第一第二の両便所ふき掃除、第一第二寄宿舎の土間整理、井戸べり等の整〔清〕潔を致して終り。

拾月拾八日 土曜日 晴 当番 安達弥之輔

午前五時起床襖五時半より点呼、皇国運動をやつて直に整理に取掛りました。先づ第一第二兩寄宿舎の掃除、農具舎をもせり。それが終えると第一第二の両便所を掃除し襖場排水溝の洗浄をやりたり。兩寄宿舎の掃除が済むと御庭を掃除して居ると、山之内より菜と甘藷交換に来て御庭に菜を下した為に、切角の掃除したのも甲斐が無くなりました。朝の礼拝に出たり。

拾月拾九日 日曜日 晴 当番 安達

午前五時起床襖、五時半より全員点呼、皇国運動をやつて各々の分担に付けり。先づ第一第二農具舎の掃除をし、後第一第二の両便所を布き掃除をしました。それが済むと第二寄宿舎の束を掃除して小便扱〔汲〕みをやりました。舎前を相田、茂木両兄に掃除して貰つ

て実に有難度う様でした。深く感謝致します。

拾月式拾日 月曜日 曇雨 当番 安達

午前五時起床禊五時半より全員点呼をやつて朝仕事に取り掛りました。今日は休みであるので有志の人楯岡町附近迄演習見学、それで朝仕事は菜整理、甘藷の整理、第二寄宿舎の前庭掃除をして貰ひました。僕は先づ第一第二両寄宿舎農具舎の掃除、又両便所の布き掃除をもやりました。それが済むと禊場掃除、河の中掃除をやりました。

所感、三日間の整理当番も無事に終え、自分の不注意の為め不行届かぬ事は残念に想ふ。禊場に余り乱雑に炊事当番に与つた人は落さぬ様に願ひます。最う一つは蓑を一定の場所に掛けて置く事、特に注意して下さい。

十月二十一日 火曜日 晴 当番 今野重四郎

朝五時起床禊皇国運動後当番に取り掛かかる。両便所の掃除農具舎整理、第一二舎の土間掃除後排水溝及び庭掃除。禊場之清浄戸外小便をくみとる。終り

十月二十二日 水曜日 晴 当番 今野重四郎

例日の如く五時起床禊後大和運動を終て整理に取り掛かかる。両便所之掃除、第二舎土間に在りたる馬鈴薯整理、井戸端の清浄、農具舎之点検掃除を終て薪置場の側カタハラを掃除して第一二舎の土間掃除を致せり。本朝船越先生よりな□「なは？、縄？」一きれなりとも皆んな一まとめにして置けば後に置ひて為めになる事があるから粗末にしてはならんと言ふ注意有り。御互に気付ませう。

十月二十三日 晴 当番 今野重四郎

朝五時起床禊皇国運動を終し、両便所掃除、第一第二舎の土間掃除、農具舎之点検及び掃除後、第二舎前の庭掃除、井戸端の取片付致し、戸外便所をくみ取る。

所感、三日間之整理当番も無事に終えたり。三日間中特に感じたる所は第二舎土間に随分鎌を於〔置〕いて居る人がありますが、鎌は農具舎の所定の場所に掛けるか其処に置いて下さい。井戸端に於て炊事当番が物を洗うたくずを撒らかさない様一所に集めて於いて下さい。農具異状有りません。終り

〔以下、西垣による赤鉛筆での記入〕各回ノ当番ガ禊場農場蓑荷縄等ノ置場其他ノ諸注意

ト希望ヲ書イテ居ルニ不拘、一向実行出来ヌ。之ヲ徹底改善スルニハ当番終了後ノ所感ヲ
 礼拝ノ時発表シテ之ヲ一般ニ知ラシメ而シテ後、次ノ当番ニ引次グ様ニシタガヨイト思ス
 （西垣）

十月二十四日 晴 当番 小松喜平

五時起床、五時半点呼を終りて皇国運動終り。農具舎に行きて農具整理して農具舎を掃除
 をして第一の便所土間掃除をし第二便所土間を掃除して庭はきます。禊場掃除をして桶を
 洗ふ。午前中武田君にてつだつてもらつて便所くみをす。礼拝の時に所長先生よりの各当
 番につきての注意ありて今後当番引次の時に礼拝の場に所感を発表する事にす。

十月二十五日 晴 当番 小松

朝五時起床禊して五時半に点呼を取りて皇国運動をして角力禪を外に出してほす。所長先
 生と第二舎前の排水溝に橋をかける。庭掃除昨夜外の大豆入れをしたので、非常につら
 け〔つかれ〕て居たので、石山五十嵐両君して掃除してくれる。橋作り終りて大急で二舎
 便所土間掃除をして朝食をす。夜風呂の温〔湯〕にて角力禪を洗ふ。

十月二十六日 雲 当番 小松喜平

朝五時起床禊して五時半点呼を取りて皇国運動終りて農具舎掃除をす。第一第二両便所土
 間掃除をして禊場掃除をす。時間なくと思ふ様になし得なかつた。三日間の整理当番も今
 日で終りだ。農場生活中の整理当番が終りだと思ふ。其れで今日わ清にしようと思て□□
 したつもりだが思ふ様にし得なかつた。併し前から角力禪を整理しようとして居たのでし
 たがなし得なかつたのをなし終りてよかつた。又農具舎の便所に行く所ろを整理す。昨夜
 仕事して出した小豆の枝を整理し得なかつたのがさん念〔残念〕でした。以上

十月二十七日 曇 当番 寒河江喜蔵

午前五時起床禊して五時半点呼皇国運動終りて当番をなす。小豆の経を整理致し両便所の
 掃除をして両寄宿舎土間を掃除す。終りて広場を掃除する。又時間あるので第二寄宿舎整
 理整頓する。

十月二十八日 晴 当番 寒河江喜蔵

全員五時起床五時五十分から点呼皇国運動をなす。後小便を汲出し両寄宿舎の両便所掃除に取りかかる。それより農具舎広場両寄宿舎の土間を掃除して襖場をはく。八時ホラカへ〔法螺貝〕の音で朝礼して食事する。夕方第二寄宿舎入口第一寄宿舎入口炊事場入口ニクヅ縄かけを造る。後夜仕事して礼拝食事す。

十月二十九日 雨 当番 寒河江喜蔵

五時半起床、大石田行あるので六時点呼、皇国運動をして其の後当番にかかる。第一に農具舎掃除広場を掃除して両便所を掃除す。又両寄宿舎土間をはきそれより清水端を掃除、一同前八時にて礼拝食事す。
三日間の所感、藁仕事をなしたる時、その藁くづを一所にして一面に藁を広げぬ様に注意シ又少しの縄でも三ヶ所クヅ縄力けに掛ける様に気を付けます。

十月三十日 雲 当番 小林洗

朝五時起床襖。第二寄宿舎で勅語に就いで所長先生より話有りました。後植林に手伝いました。休業。以上

十月三十一日 雨 当番 小林洗

朝五時半起床襖。三十分自習をやる。第一寄宿舎を掃除やり。道場の入口を整理す。後岩瀬君と下駄の整理をす。午前中続き。以上

十一月一日 晴 当番 小林洗

朝五時起床襖。皇国運動す。第一寄宿舎の入口を整理す。第二寄宿舎を掃除後羽角君とソバ空を運搬す。後両便所掃除をやる。農具舎の整理及点検す。以上

十一月二日 雨及曇 当番 和田栄造

午前五時起床襖皇国運動行ふ。第一二の出入口掃除し両便所掃除農具舎整理し外掃除は出さなかつた。農具舎整頓及ビ農具の点検す。以上

十一月三日 雨曇晴 当番 和田栄造

午前五時起床襖皇国運動行ふ。第一第二便所掃除両舎の土間掃き農具舎の整理排水溝掃除。

第二舎の縁側を掃除した。それより外便所溜樋に運搬した。夕方は農具の点検し今日の整理は終る。以上

十一月四日 雨 当番 和田栄造

朝五時起床、全生徒自習し、第一第二土間及び便所掃除し、夕方は農具点検す。全生徒朝食終つて第二寄宿舍にて所長先生より弥栄の解釈し十二時半で終る。午後よりは道場で柔道及び剣道其他下角力して六時半頃終る。以上で三日間整理当番も終り誠に気持の良いと云ふ所であらう。以上

十一月五日 降雨 水曜日 整理当番 羽角順太郎

午前五時起床、禊後降雨のため朝食まで各自読書をなす。何分昨日よりの降雨で第一第二の両便所掃除一二宿舍の廊下並ニ土間の掃除農具舎の整理をなす。昨日よりの降雨で掃除も思ふ様ニ出来なかつたこと遺憾なりき。

十一月六日 曇 木 羽角

例日の通り午前五時起床、禊後卅十分自習六時より皇国運動のち作業開始、両便所掃除両宿舍の前庭の掃除をなす。時間のゆるすかぎり農具舎のかたづけ等をなす。雨も晴れたので整理も思ふ存分に出来るので大車輪にて任務を完する覚悟です。

十一月七日 快晴 金 羽角

同五時起床、みそぎ後卅分各自読書にはげも「ママ」六時よりやまとばたらき作業開始、まつさきに両便所掃除、一二の土間のかたづけ並ニ蕎麦カラの運搬、前庭ノ掃除ヲしました。降雨続きのため至る所ごみの山、整理モ相当苦辛致しました。何分きようは近頃まれなる快晴にめぐまれ整理も順調に行きました。

十一月八日 快晴 土曜日 田中

第一第二寄宿舍の両便所庭掃除野外便所整理す。

十一月九日 快晴後曇 日曜日 田中

第一第二寄宿舍の両便所庭掃除排水溝掃除す。農具舎整理す。

十一月十日 晴 月曜日 田中
第一第二寄宿舎の両便所庭掃除農具舎整理。